

特定非営利活動法人

岐阜環境カウンセラー協議会

会報 Vol. 25

2019年11月1日発行



この美しい自然を守ることが、**人類を救う!!**

目次・概要

- ～巻頭言～ 管見妄語 - I 「意を伝えるということ、、、」

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男

スロベニア共和国の「ブレット湖」(表紙の写真)で、「この美しい自然を守ることが人類を守る」の強烈な思いと、スウェーデンの16歳の少女が発した「永遠の経済成長というおとぎ話ばかりだ」、「あなた達には失望した」と、訴える言葉に強い「心震わす力」を感じた。そして、「更なる効果的な活動をせねば、、、」と思うものの、しかしその対策案が明確に浮かばない、、、環境カウンセラー第一の使命は唯一「地球温暖化防止に、最大の努力を組織として推進すること!」が、第一の使命である筈だが、、、そして、未だ「今のこの異常なる状態が、通常の時代表(ニューノーマル化)に為るだろう」と云われる瀬戸際であるからこそ、新しい対策案らを「率直に、そして愚直に行動する」ことであろうと強く思う。

- エコアクション 21 地域事務局ぎふの閉鎖について

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦

エコアクション 21 地域事務局ぎふは、NPO 岐阜環境カウンセラー協議会が、2006年にエコアクション 21 中央事務局の認証を得て開局し、審査の受付、審査員の指名、判定委員会の開催、グリーン化プログラム(GP)の開催、フォローアップセミナーの開催、審査員力量向上研修会の開催などの業務を担い、エコアクション 21(以下、EA21と略記します。)の地域に密着した地域拠点として、地域事務局員並びにNPO関係者の皆様のボランティア活動、審査人の皆様による支援に支えられて、EA21の普及促進活動に努め、2019年3月末現在で管轄をする認証・登録事業者数は50件となる地域事務局へと成長してまいりましたが、2019年9月末をもって13年間の活動に終止符を打つことにしました。

～巻頭言～

管見妄語 - I 「意を伝えるということ、、、」

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男

岐阜環境カウンセラー協議会 第1回会報の発行(2014年2月18日)以来、表紙を飾ってきた湖の風景は、バルカン半島の最北端(オーストリアの真下)に位置する東南ヨーロッパの上部にある、スロベニア国の、北西部アルプスにある氷河湖の「ブレッド湖」である。

「スロベニア国」はイタリア半島の右側にある、「アドリア海」の面するバルカン半島の最上部に位置する、人口200万人程度の小国である(1991年6月25日 [ユーゴスラビア社会主義連邦共和国](#)より独立(正式国名:スロベニア共和国))。

6年前に訪れた時、「ブレッド湖」の美しさに、「この美しい自然を守ることが、人類を守る!!」と、感嘆の呟きを声に出したことを、懐かしく思い出すのである(2013年5月)。

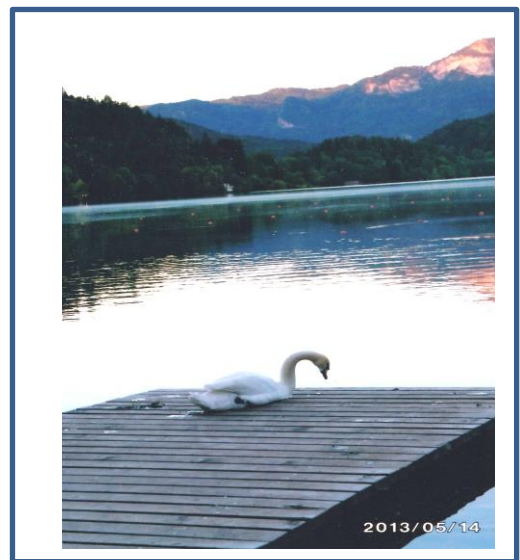
冷静に振り返れば我が国にも、この景観にも、負けずとも劣らない風光明媚な場所は五万と在るのであろうが、何故私の心に深く刻まれたのであろうと思うとき、木々の緑と湖面の深い青さ、そして心地よい風を肌を感じ、又乗船場



で佇む白鳥も、この景観を一段と引き立たせていた。この景観を愛でる時、最も大事なことのひとつに、辺り一面の静けさではなかったのかと、この景観の中で強く感じたのである。「静かさが景観をより印象深いものにする」、そして、「美しい自然と穏やかな営みは、永く守らねばならない」と、そんな想いを強く感じ二枚の写真を観ながら、過ぎし日の追憶に浸る時もある。

平成25年度・第2回目の理事会にて、当協議会理事長職をお受けする事になった。

環境カウンセラーは、これまでの仕事やボランティアで取り組んできたエコ活動の知識を活かし、エコな視点で多くの人と未来を繋げていく推進役であり、常に研修会の受講や、環境カウンセラー同士の交流・情報交換を通して、活動の幅を広げる姿勢は当然であるが、最も大事な使命は「地球温暖化防止に、最大の努力を組織として推進すること!!」であり、重ねて「地球温暖化防止に、最大の努力を組織として推進すること!!」が、環境カウンセラーの第一の使命であると思うのである。



WMO(世界気象機関:World Meteorological Organization)によると、19世紀半ばと比較して現在の世界平均温度は1.1℃上昇、特に2015年から今年まで迄の平均は、15年までの5年間と比べ大気中の「二酸化炭素(CO₂)」は、濃度の上昇率が約20%増えると気温は0.2℃上がる」、など近年の温暖化は急速に進んでいると、WMOは訴えている。

気温の上昇は海水温の上昇に直結し、当然の如く南北両極圏の海水の消失も現れ、過去5年間で海面は年平均で5mm上昇した。これらのことは新聞・テレビの「地球環境特集」らによって繰り返さされており、小学生も知ることであり多くの人が、既に気が付いている事実である。

翻って、今夏も暑かった!! 特に7月中旬からの20日間は晴天の日が続き、日中は35℃を超える異常なる猛暑が続いた。そして9月初旬には台風15号が発生(9月5日)、観測史上最強クラスの勢力で関東地方に9月9日に上陸し、千葉県に甚大な被害を出し、続いて10月には台風19号が発生し100名近い犠牲者を出し、豪雨による甚大な被害が発生した(10月末時点)

この地球温暖化に起因する異常気象は、我が国だけでなく世界でも猛暑・豪雨・記録的日照不足などが続いており、米国・ブラジル・バングラディシュらでは「大洪水」、欧州やインドでも未曾有の熱波が発生、我が国においても豪雨・記録的日照不足・猛暑が続いている。

少し古い報告であるが、インドでは5月が最も暑い時期で、40℃以上の日が続くと云われるが、その年は4月から酷暑が続いていた(2016年5月19日)。その年の5月北西部の砂漠の町ファロディで19日、インド史上最高温度となる51℃まで気温が上昇したのである。

過去の記録は1956年に観測された50.6℃、前日も50.5℃まで上がり、道路のアスファルトは溶け、多くの人が病院に運ばれるなど、混乱が起きていると伝えていた。

今秋、台風19号の経路を聞いていたが、幸いにも当地(岐阜県)を避けて通過し、胸を撫ぜ下すも、被災地の方々のことを思うと胸が痛む。台風は毎年我が国を襲うが、徐々にその勢力は強くなっている様に思われ、「スーパー台風襲来の時代に突入」したと云われた。台風19号の被害状況のテレビ放送を観ながら、小生は「これは異常事態の発生(アブノーマルな状態)」と思ったが、気象庁の専門家は、「大気温1℃上がると、降雨量は7%アップする」、「今のこの異常なる状態が、通常の状態(ニューノーマル化)に為るだろう」のコメントに、嫌悪感を覚える。

「スーパー台風襲来の時代に突入」の真因は、「海面温度の上昇」であると推測されており、19号発生時は「海面温度は27℃を超えていた」と云う。(海水温度は、[台風](#)などの[熱帯低気圧](#)の発生とその勢力に関係しているとされ、殆どの熱帯低気圧は海面水温が26.5℃を越える海域で発生し、海水温が高いほど勢力が強くなる傾向にあると云う)、高い温度の海水面が「水蒸気の帯」をつくと云われる。

その理由は、フィリピン近海の赤道付近の海から、日本近海まで海水温が高くなって来ているからで、それは地球温暖化の影響と思われる。

色々な意見を述べる人もあるが、「地球温暖化対策」に対し、圧倒的多くの人は「大幅なCO₂排出削減しかない」という発表に納得し、そのため更なる「全世界の人々が、地球温暖化防止対策を進めねばならない」は、正論と思っている。

一方では、経済成長の妨げになるとして「行きつ、戻りつしつつ」、一向に進まない間に「スーパー台風襲来の時代に突入」などと、容易に語られる時代になってしまったのが、実情である。



**史上最高の51℃となり、高速道路の高架下と思われる場所で、
「涼をとる人たち」 (NHK 気象アンカー/森さやか 2016・5・**

そんな時「スウェーデンの少女」が、強烈な言葉を投げかけた!!

スウェーデンの環境活動家、グレタ・トゥーンベリさん(16歳)が、今秋9月23日にニューヨークの国連本部で行った演説は、大きな反響を呼んだ。彼女は、「気候危機を起こした原因は私達であるが、解決策を打ち出すのも私達であるべきだ」と話し、「温暖化対策に失敗すれば、あなた達を決って許さない!」と、涙ながら首脳的面々に訴えた。たかだか4分程度の発言であったが、国連・気候行動サミット参加首脳の前で放った「永遠の経済成長というおとぎ話ばかりだ、、」、「あなた達には失望した」と訴える姿は極めてインパクトがあり、強い言葉と怒りの表情で警鐘を鳴らすグレタさんの姿に、世界中がくぎ付けになった事を思い出す。彼女より60歳も齢を重ねる私は、孫の様な少女が放った「あなた達には失望した!」の、厳しい「一言」に極めて強い衝撃を受けたのである。そして、「少し、方法論を変えなければならない、、、」と、強く思う様になった。



ぎふ環境カウンセラー議会は「地球環境対策の推進」を掲げて、平成10年4月の設立以来 21年が経過し事業所部門・市民部門は試行錯誤を重ねながらも、地道な活動を展開し成果を積み上げ、平成18年12月には特定非営業 活動法人ぎふ環境カウンセラー協議会の中に、環境経営の第三者認証システムである「エコアクション 21 地域事務局ぎふ」が設立された。現在「エコアクション 21(EA21)」の登録企業総数は39 事業所(地域事務局ぎふ扱い:平成25年12月末)となり、試行錯誤を繰り返しながらも、健全に機能しながら推移している。只、ここに来て組織運営に係る厳しい規制が掛かり、資金的なこともあり存続の危機を迎えているのも事実であるが、今、最も大事なことは「事業所部門&市民部門」人たち全員と考え続け、次の方向を決めるべき時期と思うのである。

冒頭に記した、スロベニア共和国の「ブレット湖」で、「この美しい自然を守ることが人類を守る」の強烈な思いと、スウェーデンの16歳の少女が発した「永遠の経済成長というおとぎ話ばかりだ」、「あなた達には失望した」と、訴える言葉に強い「心震わす力」を感じた。そして、「更なる効果的な活動をせねば、、」と思うものの、しかしその対策案が明確に浮かばない、、環境カウンセラー第一の使命は唯一「地球温暖化防止に、最大の努力を組織として推進すること!」が、第一の使命である筈だが、、、、そして、未だ「今のこの異常なる状態が、通常の世界(ニューノーマル化)に為るだろう」と云われる瀬戸際であるからこそ、新しい対策案らを「率直に、そして愚直に行動する」ことであろうと強く思う。

改めて「深く広く学ぶことに努め」、もう一段深く捉え、加えて「意を理解し伝える」と云うことに、「心震わす力を込めて、語らねばならない」等、思考の堂々巡りを繰り返している。

細い管の先から外の世界を窺い、狭い視野でポイントを掴み切れない「世迷言(管見妄語)」に、思いを巡らす今日この頃である。

(2019・10・26)

エコアクション 21 地域事務局ぎふの閉鎖について

岐阜環境カウンセラー協議会 理事 鈴木 敬彦

1. エコアクション 21 地域事務局ぎふの歴史

エコアクション 21 地域事務局ぎふは、NPO 岐阜環境カウンセラー協議会が、2006 年にエコアクション 21 中央事務局の認証を得て開局しました。

開局以来、審査の受付、審査員の指名、判定委員会の開催、グリーン化プログラム(GP)の開催、フォローアップセミナーの開催、審査員力量向上研修会の開催などの業務を担い、エコアクション 21 (以下、EA21 と略記します。)の地域に密着した地域拠点として、地域事務局員並びに NPO 関係者の皆様のボランティア活動、審査人の皆様による支援に支えられて、EA21 の普及促進活動に努め、2019 年 3 月末現在で管轄をする認証・登録事業者数は 50 件となる地域事務局へと成長してまいりました。

2. 閉鎖の理由

エコアクション 21 ガイドラインが 2009 年版に替わり、新しく 2017 年版が策定され、同時に EA21 審査人は独立した立場から、中央事務局に所属する審査員に替わり、そして地域事務局についても変革が求められました。

中央事務局は、現在活動中の地域事務局において、組織としての内部統制の課題或いは地域事務局及び地域事務局員の力量に大きなばらつきがあるなどの課題が出てきて、全ての地域事務局に同じ役割・力量を一律に求めることに限界が出てきたため、役割や力量に応じて地域事務局を中核、普通、基礎の三つに分ける表 1 のような新しい地域事務局の枠組みを示しました。

表 1 新地域事務局組織の要件

上位の地域事務局は、下位の地域事務局の要件を含む		
地域事務局の種類	組織の要件(主なもの)	
中核地域事務局	雇用保険、社会保険、厚生年金が整備されていること	
普通地域事務局	暫定*	常勤の役職員が3名以上
	普通	
基礎地域事務局	特別	健全な財政基盤
	新**	
*	暫定期間中(2020~2022年度)に中核の要件を満たす見込みがある場合	
**	新たに地域事務局の承認を希望する場合	

そして、それぞれの新地域事務局の機能は表 2 のようになります。現在の地域事務局と同じ機能を持つのは、3 名以上の常勤役職員が滞在し、雇用保険などが整備された中核地域事務局のみとなり、ボランティア活動が中心の地域事務局ぎふでは、その任を果たすことができなくなり、2019 年 9 月末をもって 13 年間の活動に終止符を打つことにしました。

表 2 新地域事務局の機能 (○:機能有 ×:機能無)

地域事務局の種類	判定委員会	審査員指名	IP,GP開催	審査受付
中核地域事務局	○	○	○	○
普通地域事務局	暫定	○	○	○
	普通	×	○	○
基礎地域事務局	特別	×	×	○
	新	×	×	○

IP: EA21を活用して、地域の環境負荷低減を推進したい自治体が主催するプログラム

GP: EA21を活用して、バリューチェーンでの環境への取組を推進したい大手企業、会員、組合員企業の環境対応力強化を図りたい企業団体が主催するプログラム

3. EA21 地域事務局ぎふ閉鎖後について

旧 EA21 地域事務局ぎふが管轄してきた 50 件の認証・登録事業者様は、EA21 地域事務局あいち (連絡先: 下記参照) の管轄へと変わりました。

旧 EA21 地域事務局ぎふが管轄してきた認証・登録事業者様におかれては、窓口が EA21 地域事務局ぎふから EA21 地域事務局あいちに替わるだけで、その他の変更はございません。

ただし、フォローアップセミナー等の研修会や各種説明会の開催場所は愛知県が主となり、ご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご了承ください。

また、旧 EA21 地域事務局ぎふ事務局長が、EA21 地域事務局あいちで、今後も EA21 の事務局活動を継続することになりましたので、お気軽にご連絡、お問い合わせなどをしていただきますよう、よろしくお願い致します。

エコアクション 21 地域事務局あいち

〒453-0041 名古屋市本陣通 5-6-1 地域資源長屋なかむら 201

TEL&FAX: 052-471-7477

E-mail: ea21-acea@mbr.nifty.com

4. 今後の EA21 活動

従来から当協議会の下部組織として EA21 部会を設けております。

EA21 部会は、年に 6 回、偶数月に開催され、当協議会の理事長、EA21 地域事務局員、岐阜県内審査人 9 名、愛知県審査人 2 名といったメンバーで構成され、エコアクション 21 の普及、事業者に対する指導・助言の在り方、審査人自身の力量向上等について情報や意見の交換をしております。

この EA21 部会の継続の在り方については、現在審議中ですが、基本的な形は継続し、EA21 の一層の質的向上を目指して普及促進に努めてまいります。

以上

・ 特定非営利活動法人 岐阜環境カウンセラー協議会
〒507-0001 岐阜県多治見市小名田町小滝 5 番地の 301(梶田宅)
TEL/FAX 0572-51-5500
E-mail: gifu-ec@nifty.com
URL: <http://www.gifu-ec.jp>
窓口担当者 : 鈴木 敬彦、梶田 弘一